

たがい思い

調布市立
上ノ原小学校
5年生
令和8年7月3日

スポーツ大会に向けて

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、晴れ間には校庭で元気いっぱい遊ぶ様子が見られています。先日は学校公開へご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちは、ハケ岳移動教室を終え、新たに友達のよさに気づき、困ったときこそ「たがい思い」を大切する必要性を実感しているようです。子どもたちの成長を感じていただけたら嬉しく思います。

さて、学期末の忙しい日々の中ではありますが、2学期の「スポーツ大会」に向けて、少しずつ学年で動き出しました。今年度の表現運動は、子どもたちと相談し、「たがい思い」という学年目標を表現することになりました。どのような曲を用いて、どのような表現運動にしたいのか、一人一人の思いをアンケートで募り、形にしていきます。

スポーツ大会に向かっていくにあたり、学年集会を開きました。そこで、みんなである曲を聴き、歌詞から題名を想像しました。歌詞に意識を向けて聴くと、「分かった!」「ああ~!そういうことか。」「たしかに。」と納得と感動の声が溢れました。

ただ好きな曲を表現するのではなく、「たがい思い」を表現するために、一人一人の考えを生かしたいということ、実行委員を中心に、その思いの表現の仕方について検討していくことを全体で共通理解しました。

片っぽで丸を作って しっかり持ってて
もう片っぽでその丸の後ろを ぐるっと回って
間にできたポッケに入って 出て来るの待ってて
出てきたところを迎えに来て「せーの」で引っぱって
はじめはなんとも情けない形だとしても 同じだけ力をこめて

これは子どもたちと聞いた曲の歌詞の一部です。保護者の皆さんも題名を想像して、答えを子どもたちに聞いてみてください。子どもたちが一つ一つの行事を自分たちで考え、創り出すことの楽しみを学ぶことができるように、5学年の教員一同力を合わせて参ります。

